

事務事業チェックシート

事務事業No 779 事業名 川端龍子美術振興基金事業

[事業基本情報]

分野別目標	5	子どもが輝き、文化が薫る教育のまち
政策	1	学校教育の充実
施策	3	小・中学校教育の充実
基本方針	2	子どもたちの確かな学力の定着と向上

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		教育費
	項		教育総務費
	目		教育振興費
	大事業		教育振興事業
事項		川端龍子美術振興基金事業	

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間	平成25年度	～ 永年
事業実施の根拠法令		
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	学校教育課	林 素秀 (435-1139)
関連課		

「3つの約束・44の約束」との関連性

3つの約束	産業を元気に	まちを元気に	人を元気に	非該当
			○	
44の約束				○

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
	和歌山市の美術教育の振興を図るため、和歌山市川端龍子賞及び和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞を創設し、優秀な成績を収めた学校、個人を表彰する。	和歌山市川端龍子賞は、和歌山市内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼稚園及び保育所を対象とし、顕著な美術振興の実績があったと認められるものを対象として表彰する。また、和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞は、和歌山市内の幼児児童生徒又は、和歌山市内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校・幼稚園及び保育所に在籍する幼児児童生徒のうち、①幼稚園・保育所部門②小学校低学年部門③小学校高学年部門④中学校部門⑤高等学校部門の5部門で描画、版画等の優秀作品を表彰する。				
実施内容		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞は①幼稚園・保育所部門②小学校低学年部門③小学校高学年部門④中学校部門⑤高等学校部門の各部門から選出。和歌山市川端龍子賞は応募校の中からコンクール等の実績、保育・授業の取組報告等をもとに、選出。いずれも選考委員会で候補をあげ、教育委員会で決定した。	和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞は①幼稚園・保育所部門②小学校低学年部門③小学校高学年部門④中学校部門⑤高等学校部門の各部門から選出。和歌山市川端龍子賞は応募校の中からコンクール等の実績、保育・授業の取組報告等をもとに、選出。いずれも選考委員会で候補をあげ、教育委員会で決定した。	和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞は①幼稚園・保育所部門②小学校低学年部門③小学校高学年部門④中学校部門⑤高等学校部門の各部門から選出。和歌山市川端龍子賞は応募校の中からコンクール等の実績、保育・授業の取組報告等をもとに、選出。いずれも選考委員会で候補をあげ、教育委員会で決定する。	和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞は①幼稚園・保育所部門②小学校低学年部門③小学校高学年部門④中学校部門⑤高等学校部門の各部門から選出。和歌山市川端龍子賞は応募校の中からコンクール等の実績、保育・授業の取組報告等をもとに、選出。いずれも選考委員会で候補をあげ、教育委員会で決定する。	和歌山市幼児児童生徒川端龍子賞は①幼稚園・保育所部門②小学校低学年部門③小学校高学年部門④中学校部門⑤高等学校部門の各部門から選出。和歌山市川端龍子賞は応募校の中からコンクール等の実績、保育・授業の取組報告等をもとに、選出。いずれも選考委員会で候補をあげ、教育委員会で決定する。

2 事業コスト

事業費等 千円			平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度	
			当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	計画	決算
	事業費		726	629	725	563	735		735		735	
	伸び率 (%)		-	-	-0.1%		1.4%		0.0%		0.0%	
	人件費	常勤職員	3,265	3,265	3,265	3,164	3,164		3,164		3,164	
		非常勤職員										
		小計	3,265	3,265	3,265	3,164	3,164		3,164		3,164	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債											
	その他		726	629	725	563	735		735		735	
	一般財源 (税等)											
所要人数	常勤職員	0.44	0.44	0.44	0.43	0.43		0.43		0.43		
	非常勤職員											
主な予算内訳		附属機関等委員報酬 30千円、賞賜金 695千円										

3 目標及び実績

		指標名及び達成状況				平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
活動指標	応募者数					年度目標値	50	80	100	100	100
						実績値	39	45			
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		60.0%	56.3%			
					実績値		10	20	20	20	20
成果指標	表彰者数					年度目標値	25	25	25	25	25
						実績値	15	19			
	単位	人	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		60.0%	76.0%			
					実績値		1	1	1	1	1
表彰校数					年度目標値	1	1				
					実績値	7	1				
単位	校	全体目標値	全体目標達成度	年度別達成度		700.0%	100.0%				
				実績値							

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				○
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	<p>団体賞では、学校（園）全体で図工・美術教育に取り組む団体からの応募が少し増えている。また、個人賞も様々な技法を用いたレベルの高い作品が出品されている。今後も本事業を広く周知し、図工・美術教育の充実を図るとともに、応募校を増やしていく。</p>
「見直し」 「改善」案	<p>周知の際には、要項とともに前年の作品や表彰式の様子を掲載したチラシを作成し、同封する。</p>